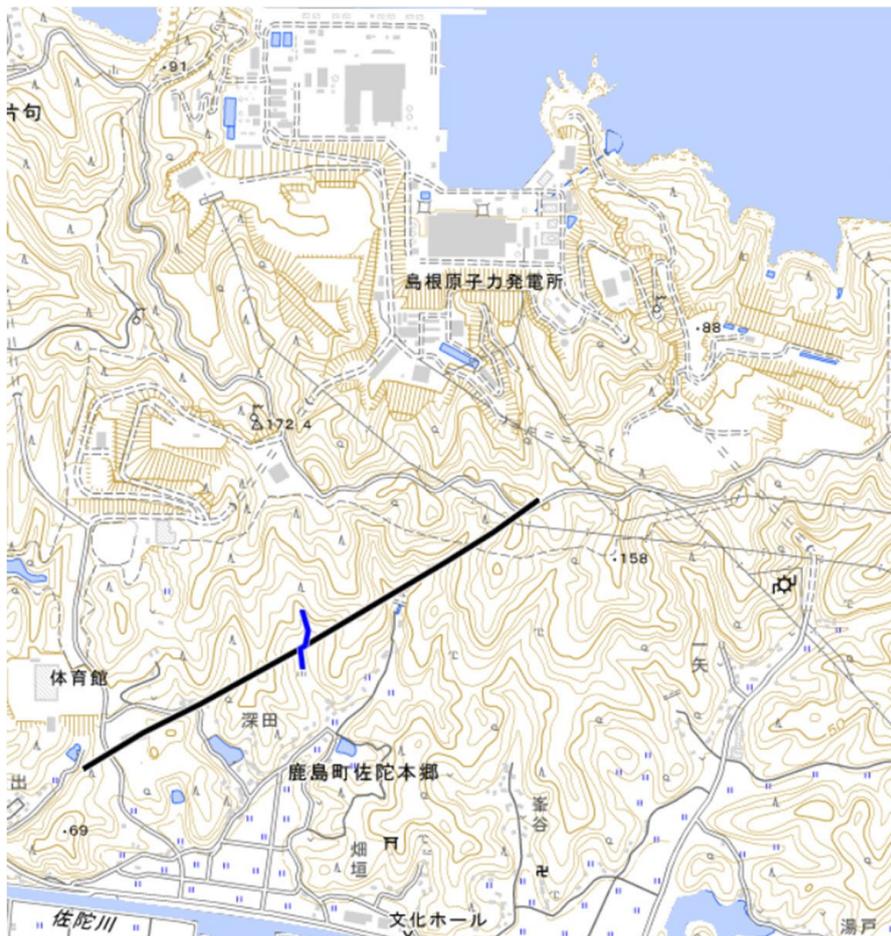


データ拡充のための地質調査

- 2026年1月14日に国内の活断層に関する文献「日本の活断層総覧」が刊行され、この中で、島根原子力発電所の南側に推定活断層※¹が示されました。
- この推定活断層は、国が公開している標高データ（5mメッシュ）を活用して地形判読が行われたものですが、当社においては、過去に独自に測量したより詳細な標高データ（2mメッシュ）を用いて地形判読を実施した結果、活断層の存在を示唆する地形は認められないこと、および推定活断層の通過位置で実施した露頭※²調査において断層は認められないことから、活断層は認められないと評価しています。
- 当社としては、当該箇所に活断層は認められないと評価していますが、このたび示された文献を踏まえ、さらなるデータ拡充の観点から、次のとおり地質調査を実施することとしました。

期 間 : 2026年2月10日～
内 容 : 地表地質踏査※³、はぎ取り調査※⁴ 等
場 所 : 下図に示される推定活断層周辺

- ※¹ 地形的な特徴から活断層の存在が疑われるが、明確に特定できないもの
- ※² 岩盤が自然または人工的に地表に現れた部分
- ※³ 地表の露頭等を確認することにより、周辺の地質・地質構造を把握する調査
- ※⁴ 地表の草や表土を取り除き、新鮮な地層面を露出させ、これを観察することにより、地表の地質・地質構造を把握する調査



凡 例

- 推定活断層
- 谷の屈曲